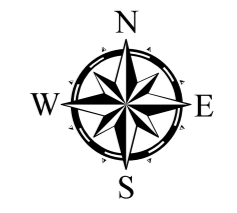
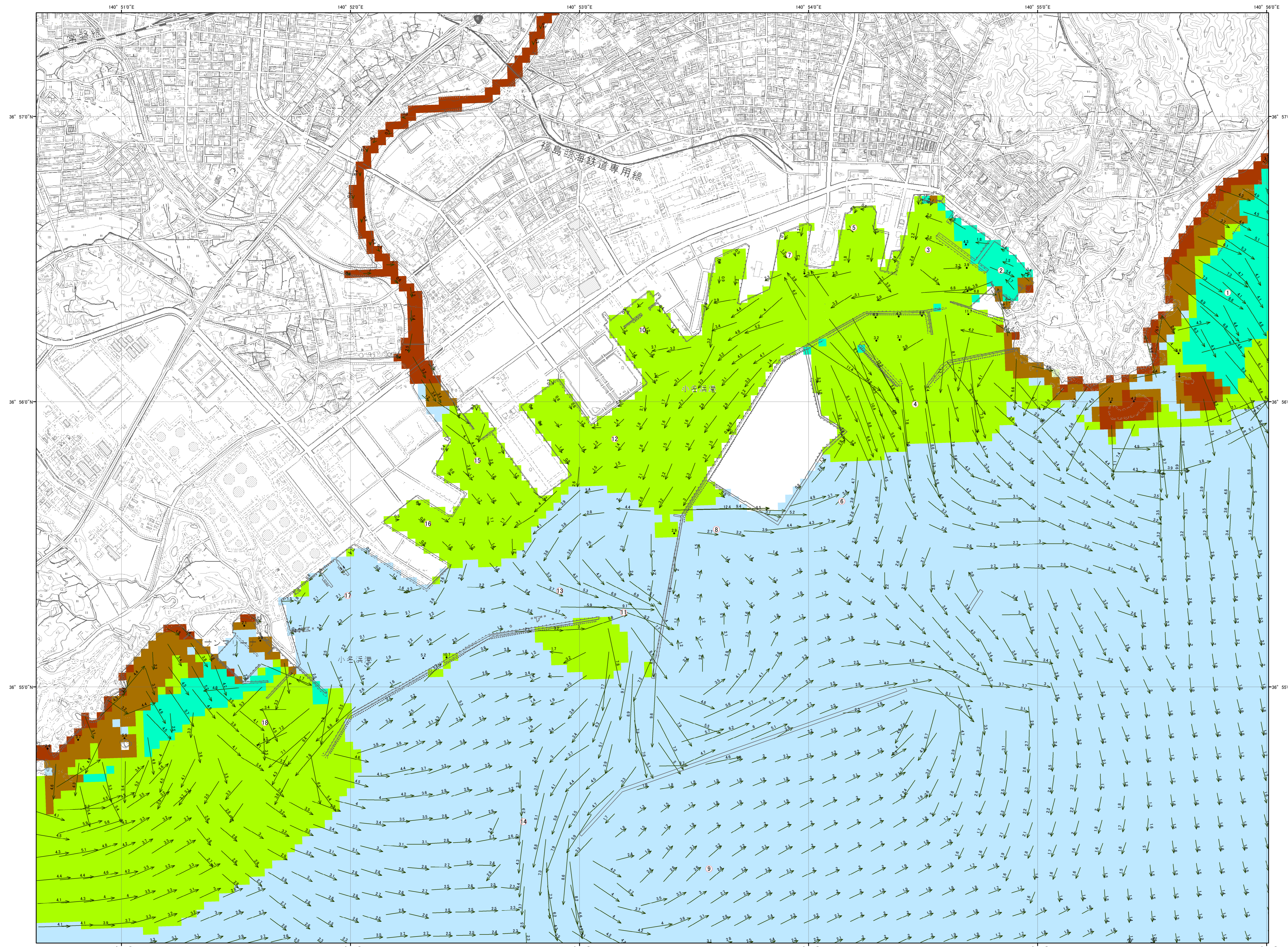


計算条件：最低水面(零位)
隆起量：平均 -0.09m(-0.10m ~ -0.08m)
Z0：0.84m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。

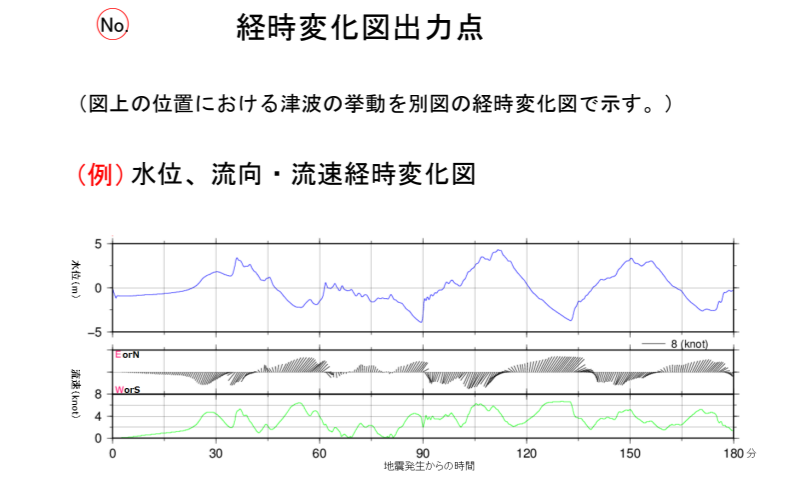


座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)



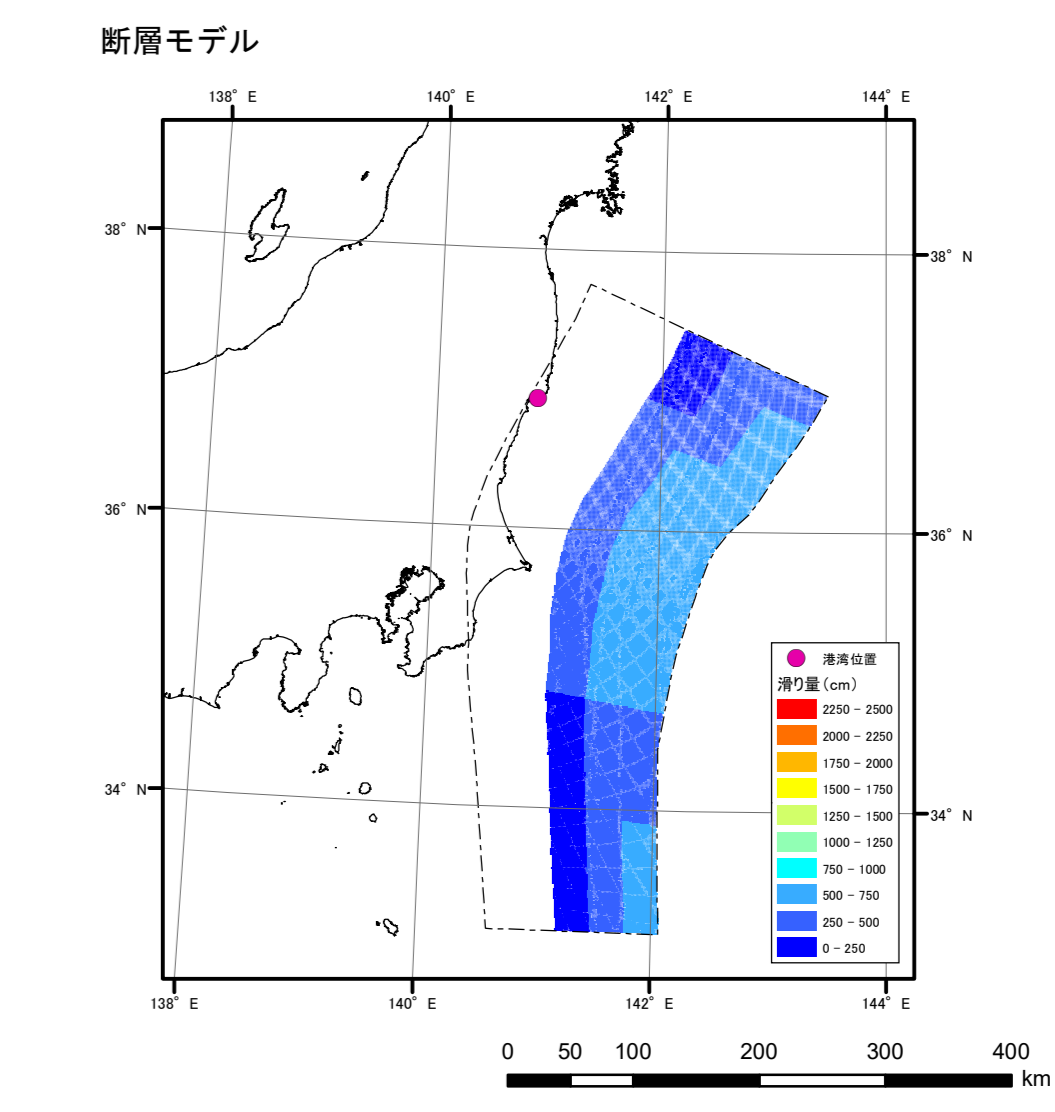
凡例

- 最大水位低下
3~最大4.6m
2~3m
0.5~2m
0.5未満
干出域
露出域



- 引潮時最大流 [knot]
3 knot
2 knot
1 knot

- 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。
流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。



延宝房総沖地震
モーメントマグニチュード Mw 8.5

本図の作成にあたっては、"津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)" を使用した。
本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
海上保安庁が保有する水深データ
基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平28情標、第1374号 平成29年3月10日)

本断面モデルは、内閣府の「首都直下地震モデル検討会」(平成25年12月19日発表)により公表されたものである。